




具体的な日本語教育プログラム例(案)

○以下、「具体的な日本語教育プログラムの作成手順」に従って具体的な日本語教育プログラムを例示する。

○ここでは以下の学習者を例として取り上げて、学習者の状況、地域の実情に応じた工夫をどのように行うかを示す。

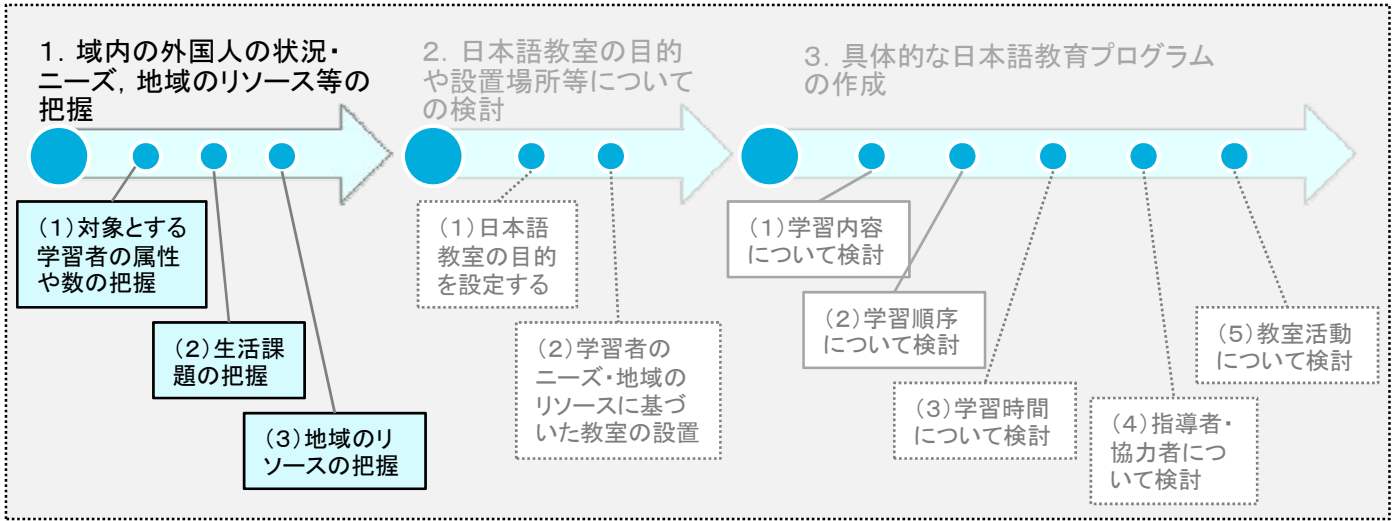
○また、明朝体 の部分は各地域において検討すべき内容を例で示している部分であり、例を参考に各地域において具体的に検討を行うことが期待される。

例1	例2	例3
 Aさん	 Bさん	 Cさん
日系人就労者	国際結婚で来日	技能実習生
外国人コミュニティーで生活	地域社会の中で生活	地域社会との接点が限られている

例1) 日系人就労者のAさんの場合

1. 域内の外国人の状況・ニーズ、地域の資源等の把握

【作業全体の中での位置付け】



【作業の内容の例】

(1) 対象とする学習者の属性や数の把握

・レディネス(日本語学習をどの程度行っているか)

⇒来日3か月、日本語学習経験なし

・漢字圏かどうか

⇒非漢字圏

・学習適性(過去の言語学習経験等)

⇒英語(あいさつ程度)

・家族形態

⇒妻、子供(小学生)

・在留資格

⇒定住者

・定住志向

⇒当面は日本で生活の予定

(2) 生活課題の把握

○日常生活(使用言語と使用場面、日本語でのやり取りが求められる場面、日本語学習に割ける時間)

⇒勤務時間が長く、自習時間を取ることは困難。職場の指示は基本的には日本語だが、時折通訳が来る。それ以外はポルトガル語で生活を行っている。

○生活面で課題として抱えていること

生活課題の優先度	生活課題の内容(できるようになりたいこと)
1) 切迫度の高いこと	生活ルールや地域の集まりについて知りたい
2) 今できるようになりたいこと	住民としての手続きができるようになりたい
3) できればできるようになりたいこと	行動範囲を広げ、知り合い・友達を増やしたい
4) 今後できるようになりたいこと	仕事で使う専門的な日本語を知りたい

(3) 地域の資源の把握

・教室に使える場所

⇒地域の公民館

・指導者

⇒地域在住の日本語教師経験者

・協力者の有無

⇒母語が同じで日本在住が長い外国人

・協力機関の有無

⇒地域の公民館(場所の提供)

・多言語での情報の有無

⇒市役所では基本的な生活情報が多言語で提供される

・通訳が配置されている場面

⇒職場(常駐ではない) 市役所の手続の場面のみ

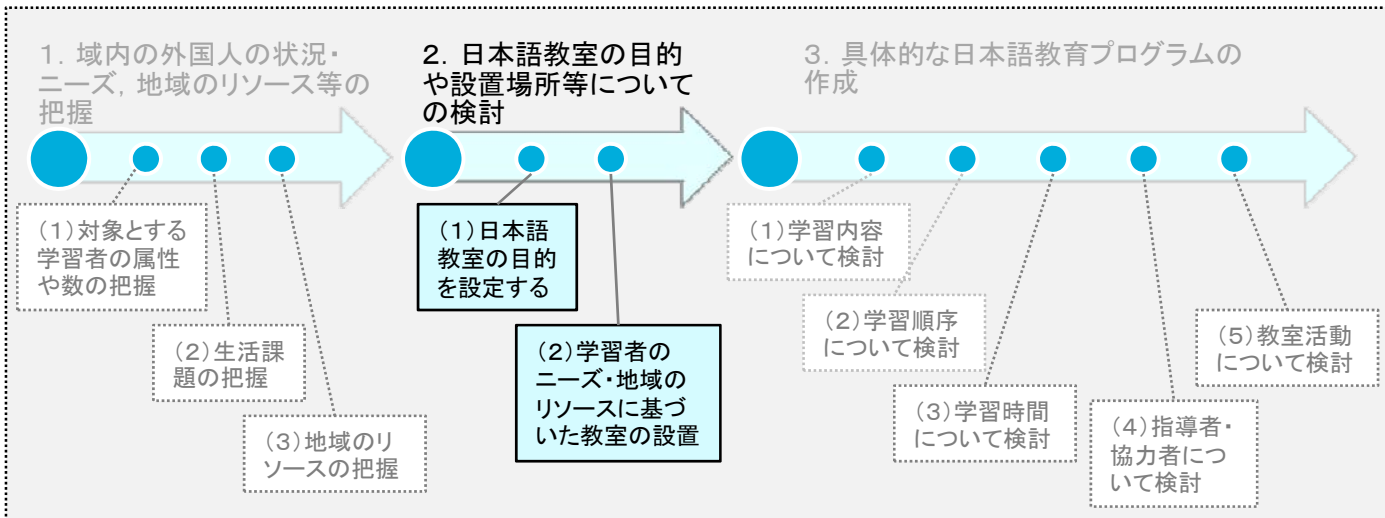


日系人就労者Aさん

地域

2. 日本語教室の目的や設置場所等についての検討

【作業全体の中での位置付け】



【作業の内容の例】

(1) 日本語教室の目的を設定する

○漠然とした学習者像ではなく、域内の外国人の状況を踏まえた上で「具体的な学習者像」を設定し、そこから生活課題の改善に向けた教室の目的を設定する。

○外国人の社会参加、エンパワメントにつながる目標設定を行う。

⇒行動範囲や人間関係が日系人コミュニティ内に限られているため、まずは居住地域の生活のルールや手続き等について知ること、さらに地域住民との関係を構築することにより、地域社会に参加できるようになる。

(2) 学習者のニーズ・地域のリソースに基づいた教室の設置

①地域課題、域内の外国人の状況に対応した日本語教室の設置(場所、日時等)

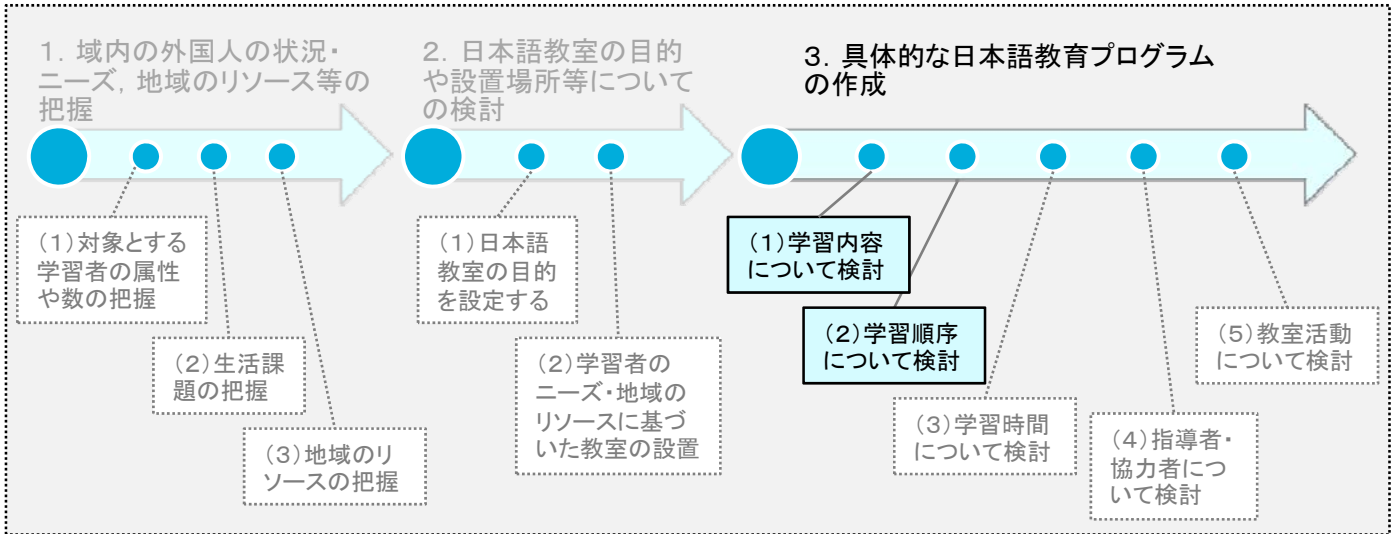
⇒平日は仕事のため、週末の午前中に公民館で実施。

②行政・関係機関との連絡調整

⇒地元の日本語学校に勤務する日本語教師の協力、自治会等地域住民の協力と参加を求める。また、行政からは手続やイベントに関する情報を提供してもらう。

3. 具体的な日本語教育プログラムの作成(1)～(2)

【作業全体の中での位置付け】



※「(3)学習時間について検討」、「(4)指導者・協力者について検討」、「(5)教室活動について検討」の作業の内容の例については6ページ参照。

【作業の内容の例】

(1) 学習内容について検討

① 学習者Aさんの生活課題から、優先度が高いものを選択する。

生活課題の優先度	生活課題の内容(できるようになりたいこと)
1) 切迫度の高いこと	生活ルールや地域の集まりについて知りたい
2) 今できるようになりたいこと	住民としての手続きができるようになりたい
3) できればできるようになりたいこと	行動範囲を広げ、知り合い・友達を増やす
4) 今後できるようになりたいこと	仕事で使う専門的な日本語を知りたい



② 生活課題の内容(できるようになりたいこと)に該当する生活上の行為「社会の一員となる」を標準的なカリキュラム案から選択する。

標準的なカリキュラム案で扱う生活上の行為(全30単位)
<input type="radio"/> 健康・安全に暮らす(7単位)
<input type="radio"/> 住居を確保する・維持する(2単位)
<input type="radio"/> 消費活動を行う(4.5単位)
<input type="radio"/> 目的地に移動する(3.5単位)
<input type="radio"/> 人とかかわる(2.5単位)
<input type="radio"/> 社会の一員となる(4.5単位)
<input type="radio"/> 自身を豊かにする(2単位)
<input type="radio"/> 情報を収集・発信する(4単位)

③「社会の一員となる」の具体例である生活上の行為の事例の中から、より生活課題に近いものを選び出す。(※下の表は選択後の事例を例示)。

④地域の実情・学習者Aさんの日本語のレベルに合わせて事例に工夫を加える。

標準的なカリキュラム案における生活上の行為の事例	
○ 社会の一員となる(4. 5単位)	
3501040	居住地の自治会について隣人に尋ねる
3501050	自治会の会員になる

○ 社会の一員となる(4. 5単位)	
3501100	各種手続の種類や内容について理解する
3501050	役所の受付で外国人登録窓口の場所を尋ねる
3401040	居住地域のゴミ出しについて地域の公的機関で発行している生活情報パンフレット等で確認し理解する

各教室で行う日本語教育の内容	
・自治会行事や役割について質問する	
・地域の自治会の申込書を読む	…等

・各種手続の種類や内容について理解する	
・場所について質問する	…等
・ゴミの分別について情報を集める	
・隣人に分からないことを質問する	…等

(2) 学習順序について検討

○学習者の生活課題の優先度に合わせて学習順序を設定する。具体的には、「1. 域内の外国人の状況・ニーズ、地域のリソース等の把握」の「(2)生活課題の把握」の「1)切迫度の高いこと」、「2)できるようになりたいこと」…の順に設定する。

3. 具体的な日本語教育プログラムの作成(3)～(5)

学習時間, 指導者・協力者, 行動・体験中心の教室活動について検討し, プログラムを作成する。ここでは検討後のプログラムの例示を行う。

◆教室の目的 : 地域社会への参加 (Ⅷ 社会の一員となる)

◆指導者 : 地域の日本語教育経験者

◆教室の場所 : 地域の公民館

◆日 時 : 土曜日, 10時～12時

	言語事項/社会・文化的情報の選択と工夫	目標達成のための教室活動	活動方法	協力者	教材
1 地域社会に参加する	・自治会行事や役割について質問する (←3501040 居住地の自治会について隣人に尋ねる)	・質問の仕方について練習し, 実際に聞いてみる	ロールプレイ	地域住民	
	・地域の自治会の申込書を読む (←3501050 自治会の会員になる)	・分からない部分の質問の仕方を練習した後, 自治会の申し込み書を読んでみる	ロールプレイ		
	・地域の行事について情報を集める (←3501100 行事に参加する)	・地域の行事について情報を集める ・地域でやってみようこと, 得意なことを発表する	インタビュー, プレゼンテーション	地域住民	
2 住民としての手続きができるようになる	・各種手続の種類や内容について理解する (←3301020 各種手続の種類や内容について理解する)	・多言語情報を基に各種手続について知る		母語が同じ外国人	パンフレット等, 多言語での生活情報
	・場所について質問する (←3301080 役所の受付で外国人登録窓口の場所を尋ねる)	・質問の仕方について練習し, 実際に聞いてみる	ロールプレイ		
	・税金の支払い方法について知る (←3302080 支払方法を確認する(各種税金))	・窓口での支払いを申し出る表現について練習する	ロールプレイ	母語が同じ外国人	パンフレット等, 多言語での生活情報
	・確定申告, 還付申告について知る (←3303040 必要性を確認する(確定申告, 還付申告))	・申告を申し出る表現について練習する	ロールプレイ	母語が同じ外国人	パンフレット等, 多言語での生活情報
	・ゴミの分別について情報を集める (←3401040 居住地域のゴミ出しについて地域の公的機関で発行している生活情報パンフレット等で確認し理解する)	・ゴミの分別について行政関係者の協力を得て, 体験する	実体験	行政関係者	ゴミの分別リスト
	・隣人に分からないことを質問する (←3401080 居住地域のゴミ出しの方法について隣人に質問する)	・質問の仕方について練習し, 実際に聞いてみる	ロールプレイ	地域住民	
・隣人に分からないことについて質問する (←3402030 マナーについて人に相談する)	・質問の仕方について練習し, 実際に聞いてみる	インタビュー	母語が同じ外国人 地域住民		

P.7
参照

※()内は工夫する前の生活上の行為の事例

<教室活動の展開例>

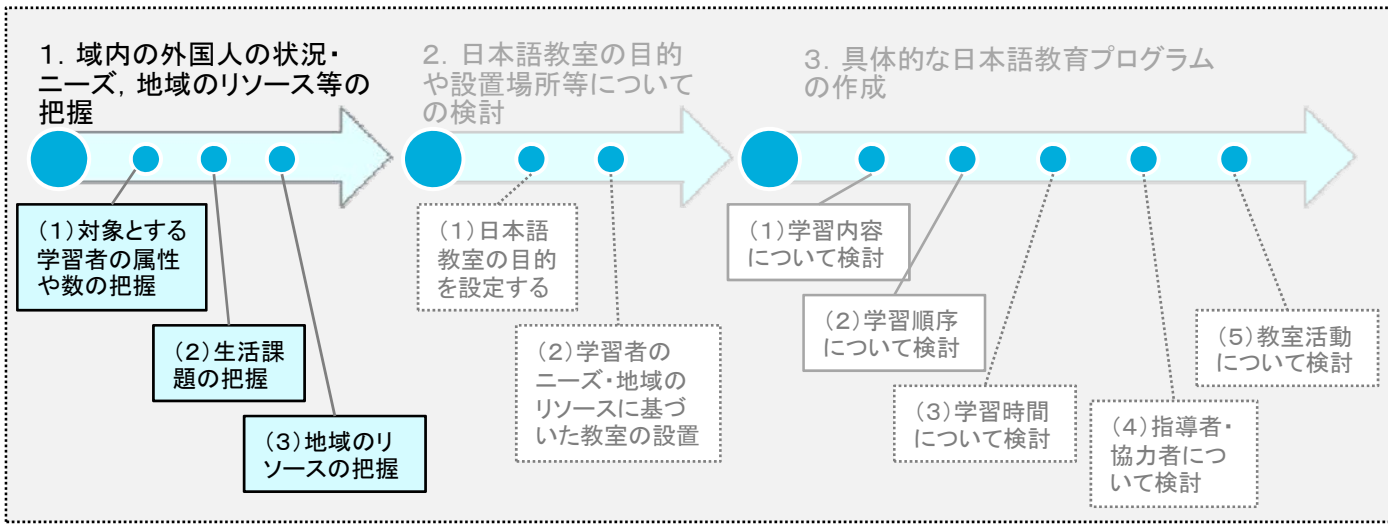
(1) 隣人に分からないことについて質問する

教室活動の内容	サポート情報等
<p><u>1) 様々な場面や状況における自分の行動について話す</u></p> <ul style="list-style-type: none">・ゴミの分別, 喫煙場所, 夜中のパーティー, 電車の遅延, 待ち合わせの時間等について描かれた絵や写真を見て, 自分の行動について話す。・母語でもよい。 <p><u>2) インタビュー①</u></p> <ul style="list-style-type: none">・母語が同じ先輩や友人に, 様々な場面や状況における行動が日本と母語の違いについて聞く。 <p><u>3) インタビュー②</u></p> <ul style="list-style-type: none">・日本人協力者に, 日本における規則や日本人の一般的行動様式について聞く。 <div data-bbox="129 1010 819 1257" style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"><p>【会話例】</p><p>A: 「たばこを吸ってもいいですか。」</p><p>B: 「いいえ, 吸ってはいけません。喫煙所で吸ってください。」</p><p>A: 「はい, 分かりました。」</p></div> <p><u>4) 発表</u></p> <ul style="list-style-type: none">・インタビュー①, ②の結果をまとめて, クラス内で発表し, クラスメートや日本人協力者と意見交換をする。	<p><活動方法></p> <ul style="list-style-type: none">・インタビュー・アンケート (※ガイドブック (仮称) xxページ参照) <p><活動方法></p> <ul style="list-style-type: none">・インタビュー・アンケート (※ガイドブック (仮称) xxページ参照)

例2) 国際結婚のBさんの場合

1. 域内の外国人の状況・ニーズ、地域の資源等の把握

【作業全体の中での位置付け】



【作業の内容の例】

(1) 対象とする学習者の属性や数の把握

・レディネス(日本語学習をどの程度行っているか)

⇒週に一度、地域の日本語教室で学習

・漢字圏かどうか

⇒漢字圏

・学習適性(過去の言語学習経験等)

⇒英語(あいさつ程度)

・家族形態

⇒夫、子供(幼稚園)、姑

・在留資格

⇒日本人の配偶者等

・定住志向

⇒永住の予定

(2) 生活課題の把握

○日常生活(使用言語と使用場面、日本語でのやり取りが求められる場面、日本語学習に割ける時間)

⇒家庭や子供の幼稚園とのやり取りで日常的に日本語を用いるが、日本語学習の時間は余りない。また、来日直後から家事労働の担い手としての役割を担っており、日本語を体系的に学んだことがない。

○生活面で課題として抱えていること

生活課題の優先度	生活課題の内容(できるようになりたいこと)
1) 切迫度の高いこと	子供が病気になったときの対応について知りたい
2) 今できるようになりたいこと	医療機関を利用できるようになりたい
3) できればできるようにになりたいこと	災害への対応を知りたい
4) 今後できるようにになりたいこと	地域でのネットワークを作りたい

(3) 地域の資源の把握

・教室に使える場所

⇒地域の集会所

・指導者

⇒地域在住の日本語教育経験者

・協力者の有無

⇒市民ボランティア

・協力機関の有無

⇒市役所(情報提供)、子育て支援施設(情報提供、子育てに関する説明会等の講師)

・多言語での情報の有無

⇒特になし

・通訳が配置されている場面

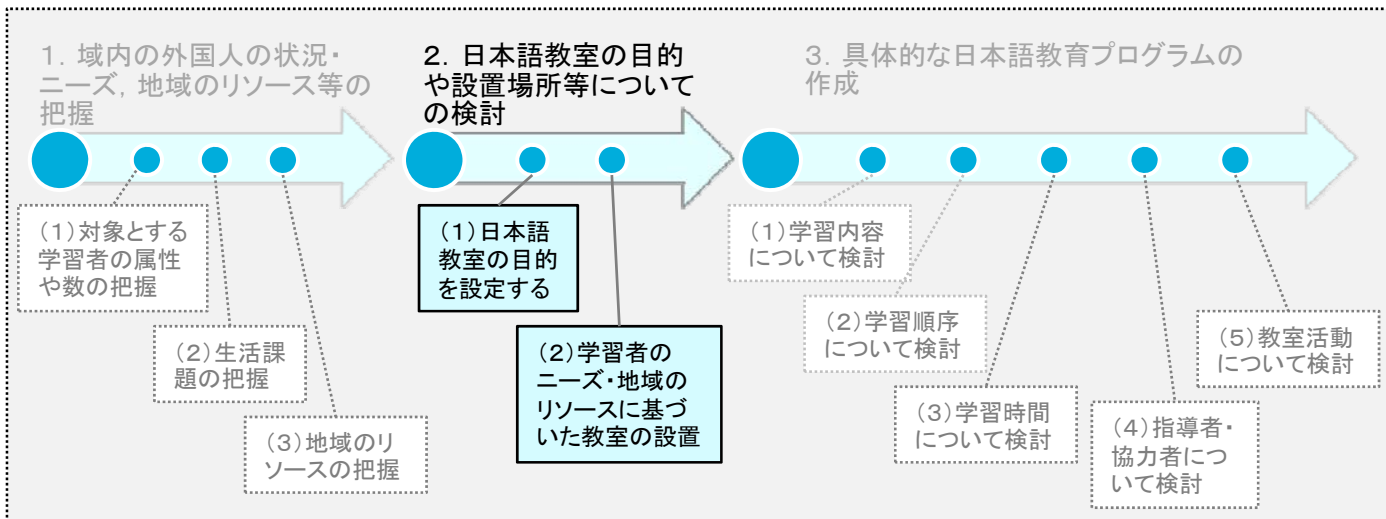
⇒通訳が必要な場合は同国出身で母語が同じ外国人の協力を得る

国際結婚Bさん

地域

2. 日本語教室の目的や設置場所等についての検討

【作業全体の中での位置付け】



【作業の内容の例】

(1) 日本語教室の目的を設定する

○漠然とした学習者像ではなく、域内の外国人の状況を踏まえた上で「具体的な学習者像」を設定し、そこから生活課題の改善に向けた教室の目的を設定する。

○外国人の社会参加、エンパワメントにつながる目標設定を行う。

⇒医療機関が利用できるようになり、子供の緊急時の対応ができるようになる。また、日本語ができないことで子供の教育に十全に関われなくなっていく親がいることから、日本語学習により子育て・教育への参加を支援する。

(2) 学習者のニーズ・地域のリソースに基づいた教室の設置

①地域課題、域内の外国人の状況に対応した日本語教室の設置(場所、日時等)

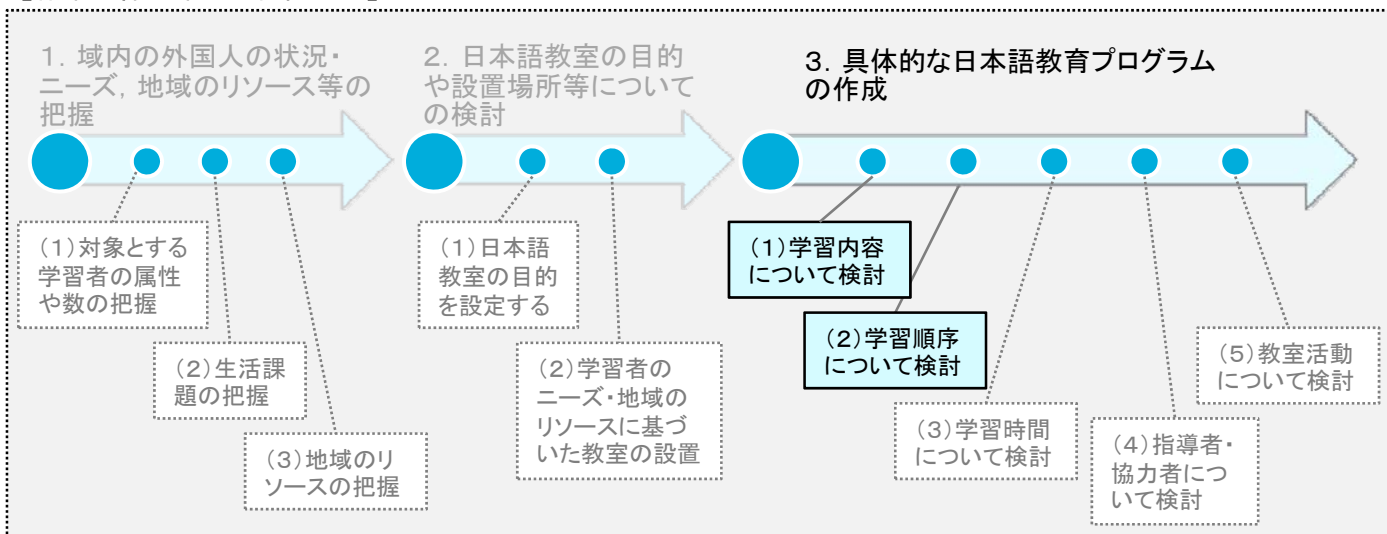
⇒子供が幼稚園に通っている時間帯である平日午前中に地域の集会所で実施

②行政・関係機関との連絡調整

⇒地域の生活情報の提供、多言語での育児や健康の相談会の開催、保育ボランティアの協力

3. 具体的な日本語教育プログラムの作成(1)～(2)

【作業全体の中での位置付け】



※「(3)学習時間について検討」、「(4)指導者・協力者について検討」、「(5)教室活動について検討」の作業の内容の例については12ページ参照。

【作業の内容の例】

(1) 学習内容について検討

① 学習者Bさんの生活課題から優先度が高いものを選択する。

生活課題の優先度	生活課題の内容(できるようになりたいこと)
1) 切迫度の高いこと	子供が病気になったときの対応について知りたい
2) 今できるようになりたいこと	医療機関を利用したい
3) できればできるようになりたいこと	災害に備えたい
4) 今後できるようになりたいこと	地域のネットワークを作りたい

② 生活課題の内容(できるようになりたいこと)に該当する生活上の行為「健康・安全に暮らす」を標準的なカリキュラム案から選択する。

標準的なカリキュラム案で扱う生活上の行為(全30単位)
○ 健康・安全に暮らす(7単位)
○ 住居を確保する・維持する(2単位)
○ 消費活動を行う(4.5単位)
○ 目的地に移動する(3.5単位)
○ 人とかかわる(2.5単位)
○ 社会の一員となる(4.5単位)
○ 自身を豊かにする(2単位)
○ 情報を収集・発信する(4単位)

③「健康・安全に暮らす」の具体例である生活上の行為の事例の中から、より生活課題の内容に近いものを選び出す。(※下の表は選択後の事例を例示。)

④地域の実情・学習者Bさんの日本語レベルに合わせて事例に工夫を加える。

標準的なカリキュラム案における生活上の行為の事例	
○	健康・安全に暮らす(7単位)
0101060	隣人に容態を伝えて助言を求める
0102010	初診受付で手続をする
0201020	医療機関で処方せんをもらい、内容を確認する
0202050	症状を説明し、薬を求める
0501020	自治体広報、掲示、看板等を理解し、現地を確認する
0501030	避難場所・方法を理解する・人に聞く

各教室で行う日本語教育の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の医療機関の所在地を尋ねる ・ 医療機関の受付で初診の手続をする …等 ・ 薬局を利用し、服用法を理解する …等 ・ 災害時の避難場所や避難方法を確認する ・ 地震発生時に適切に行動する …等



(2) 学習順序について検討

○学習者の生活課題の優先度に合わせて学習順序を設定する。具体的には、「1. 域内の外国人の状況・ニーズ、地域のリソース等の把握」の「(2)生活課題の把握」の「(1)切迫度の高いこと」、「(2)できるようになりたいこと」…の順に設定する。

3. 具体的な日本語教育プログラムの作成(3)～(5)

学習時間, 指導者・協力者, 行動・体験中心の教室活動について検討し, プログラムを作成する。ここでは検討後のプログラムの例示を行う。

- ◆教室の目的 : 健康・安全に暮らすことができるようになる (I 健康・安全に暮らす)
- ◆指導者 : 地域在住の日本語教育経験者
- ◆教室の場所 : 地域の集会所
- ◆日 時 : 水曜日, 10時～12時

	言語事項／社会・文化的情報の選択と工夫	目標達成のための教室活動	活動方法	協力者	教材
1 医療機関を利用する	・地域の医療機関の所在地を尋ねる (←0101060 隣人に容態を伝えて助言を求める)	・質問の仕方を練習し, 実際に聞く	ロールプレイ	地域住民	
	・医療機関の受付で初診の手続をする (←0102010 初診受付で手続をする)	・手続に必要な表現を練習する ・問診票の記載方法を知る	ロールプレイ		多言語医療問診票
	・医者診察を受ける (←0103010 医者診察を受ける) (←0103120 病気への対処法・生活上の注意などを質問し答えを理解する)	・体の部位や症状の表現を知る ・医者の指示を理解し, 対応する ・質問の仕方を練習し, 実際に聞く	ロールプレイ		多言語医療問診票 P.13 参照
	・地域の薬局を利用し, 服用法を理解する (←0201020 医療機関で処方せんをもらい, 内容を確認する) (←0202050 症状を説明し, 薬を求める)	・症状を説明し, 薬剤師等の質問に答える	ロールプレイ		P.14 参照
	・薬の服用法を理解する (←0202050 症状を説明し, 薬を求める) (←0203070 薬剤師等の「効能, 用法, 注意」の説明を理解する)	・薬の効能や用法の表現を理解し, 聞き取ったり読み取ったりする	ロールプレイ, スキャニング		薬(実物等)
2 災害に対応する	・災害時の避難場所や避難方法を確認する (←0501020 自治体広報, 掲示, 看板等を理解し, 現地を確認する) (←0501030 避難場所・方法を理解する・人に聞く)	・広報や掲示板等の説明を読み取る ・質問の仕方について練習し, 実際に聞いてみる	スキャニング, ロールプレイ	地域住民, 行政関係者	広報等
	・地震発生時に適切に行動する (←0502010 地震について理解する) (←0502020 身を守る(地震発生時))	・地震の前に準備しておくことや地震発生時の行動について, 自宅・学校・職場等で話し合う	実体験(起震車), シミュレーション(防災訓練), インタビュー・アンケート		多言語生活情報
	・新聞やラジオ・テレビの気象情報を理解する (←0503010 台風について理解する) (←0503020 天気予報・台風情報に留意し理解する)	・気象情報を読み取ったり, 聞き取ったりする	スキミング, スキャニング		気象情報
	・火災等の発生時に緊急通報する (←0504050 消防・救急(119番)や警察(110番)に電話する(火災等))	・通報の仕方について練習し, 関係機関の協力の基, 実際にやってみる	ロールプレイ, シミュレーション	消防・警察署員	

※()内は工夫前の生活上の行為の事例

<教室活動の展開例>

(1) 地域の薬局を利用し、服用法を理解する

教室活動の内容	サポート情報等
<p><u>1) 体の部位の名称, 症状を表わす表現を確認する</u></p> <ul style="list-style-type: none">・身体図を用いて, 体の部位の名称を理解する。・症状を表わす表現の日本語と母語の対照表を用いて, 日本語での言い方を確認する。 <p><u>2) 医者が発する指示の表現を理解する</u></p> <ul style="list-style-type: none">・病名と対処の表現の日本語と母語の対照表を用いて, 日本語での言い方を確認する。・指導者が医者役となり, 医師が発する指示の主なものを例示する。 <p><u>3) 医者の診察を受ける</u></p> <ul style="list-style-type: none">・指導者や日本人協力者に症状を伝え, 診察を受ける練習をする。また, 学習者同士でロールプレイを行う。 <div data-bbox="97 1010 819 1242" style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"><p>【会話例】</p><p>学習者：「のどが痛いんですが。」</p><p>指導者：「口を大きく開けてください」 / 「お風呂に入らないでください。」</p></div>	<p><参考資料></p> <ul style="list-style-type: none">・多言語医療問診票 (※入手方法等は標準的なカリキュラム案の113ページ参照) <p><参考資料></p> <ul style="list-style-type: none">・多言語医療問診票 (※入手方法等は標準的なカリキュラム案の113ページ参照) <p><活動方法></p> <ul style="list-style-type: none">・ロールプレイ (※標準的なカリキュラム案110ページ, ガイドブック (仮称) xxページ参照) <ul style="list-style-type: none">・出身地 (国) でかぜを引いたときの対処法について話しあってもよい。

<教室活動の展開例>

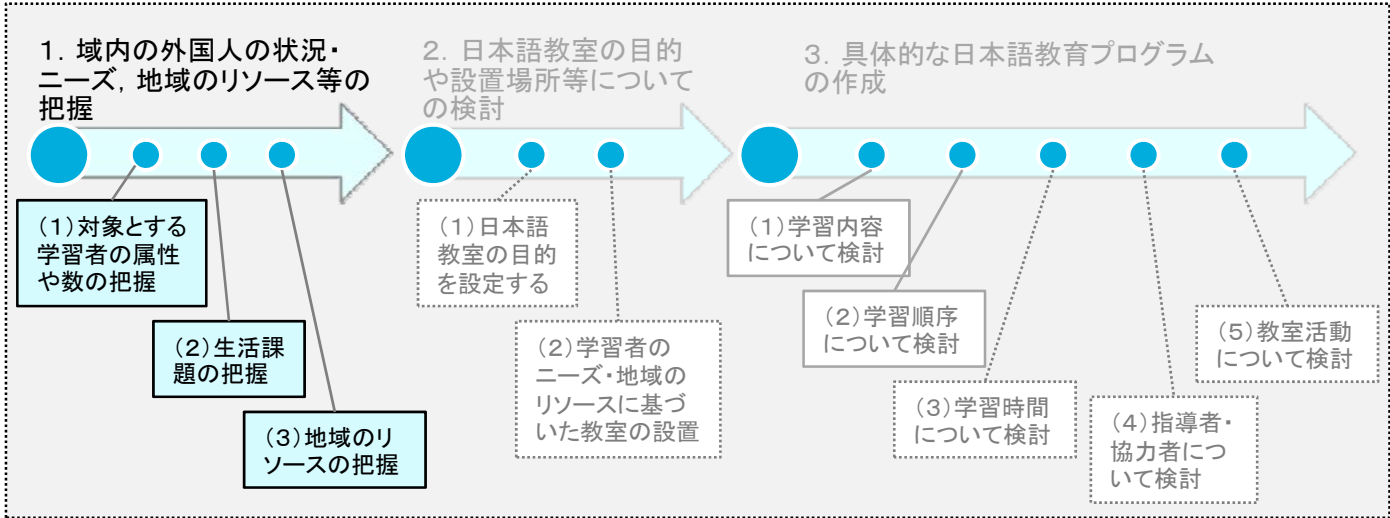
(2) 隣人に分からないことについて質問する

教室活動の内容	サポート情報等
<p><u>1) 薬の種類や飲み方について理解する</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 粉薬，錠剤など薬の実物や絵を用いて，日本語での言い方を確認する。 食前・食後・食間，一日何回など，飲み方の指示や表記を理解する。 <p><u>2) 医者から薬の説明を受ける</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者が医者役となり，医師の薬についての説明を理解する。 受付で処方せんをもらい，処方せんを扱う薬局の場所を確認する。 <p><u>3) 処方せんを提示し，薬局で薬を購入する</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 薬局で処方せんを提示して，薬を受け取る。 初めての場合は調査票に記入する。 指導者や日本人協力者と練習をする。学習者同士でもロールプレイを行う。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>【会話例】</p> <p>学習者：「すみません，お願いします。」</p> <p>薬局の人：「はい。この番号が呼ばれるまでお待ちください。」</p> <p>薬剤師：「125番のカードでお待ちの方。」</p> <p>学習者：「125番ですが。」</p> <p>薬剤師：「はい。こちらの粉薬は，1日2回朝，晩，食後に飲んでください。こちらの錠剤は，1日3回毎食後に飲んでください。」</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 出身国の場合の薬の購入法について話し合ってもよい。 <p><活動方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ロールプレイ (※標準的なカリキュラム案110ページ，ガイドブック (仮称) xxページ参照) <ul style="list-style-type: none"> 調査票のサンプルを使う。 <p><活動方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ロールプレイ (※標準的なカリキュラム案110ページ，ガイドブック (仮称) xxページ参照) 実体験 (※標準的なカリキュラム案111ページ，ガイドブック (仮称) xxページ参照) <ul style="list-style-type: none"> 薬局に行って薬を購入する練習をしたり，実際に体験するのもよいでしょう。

例3) 技能実習生のCさんの場合

1. 域内の外国人の状況・ニーズ、地域の資源等の把握

【作業全体の中での位置付け】



【作業の内容の例】

(1) 対象とする学習者の属性や数の把握

・レディネス(日本語学習をどの程度行っているか)

⇒来日前・来日後にそれぞれ160時間程度、日本語を学習。その後は不定期に自社社員を教師とした日本語教室が開催される。

・漢字圏かどうか

⇒非漢字圏

・学習適性(過去の言語学習経験等)

⇒日本語(3か月程度)

・家族形態

⇒単身で来日

・在留資格

⇒技能実習

・定住志向

⇒3年の予定

(2) 生活課題の把握

○日常生活(使用言語と使用場面、日本語でのやり取りが求められる場面、日本語学習に割ける時間)

⇒職場で使用する日本語はあいさつと業務に関する内容が中心。また、職場では日本語を必要としない仕事を担当することが多く、日本語を使用する機会が少ない。

○生活面で課題として抱えていること

生活課題の優先度	生活課題の内容(できるようになりたいこと)
1) 切迫度の高いこと	実習現場の人と日本語で話したい
2) 今できるようになりたいこと	日本語で人間関係が作れるようになりたい
3) できればできるようになりたいこと	信頼できる相手に質問したい
4) 今後できるようになりたいこと	情報を収集・発信したい

(3) 地域の資源の把握

・教室に使える場所
⇒地域の国際交流協会

・指導者
⇒地域在住の日本語教育経験者

・協力者の有無
⇒市民ボランティア

・協力機関の有無
⇒実習生受入団体

・多言語での情報の有無
⇒市役所や国際交流協会作成の多言語情報

・通訳が配置されている場面
⇒第一次受入機関に通訳が配置されており、必要に応じて派遣される

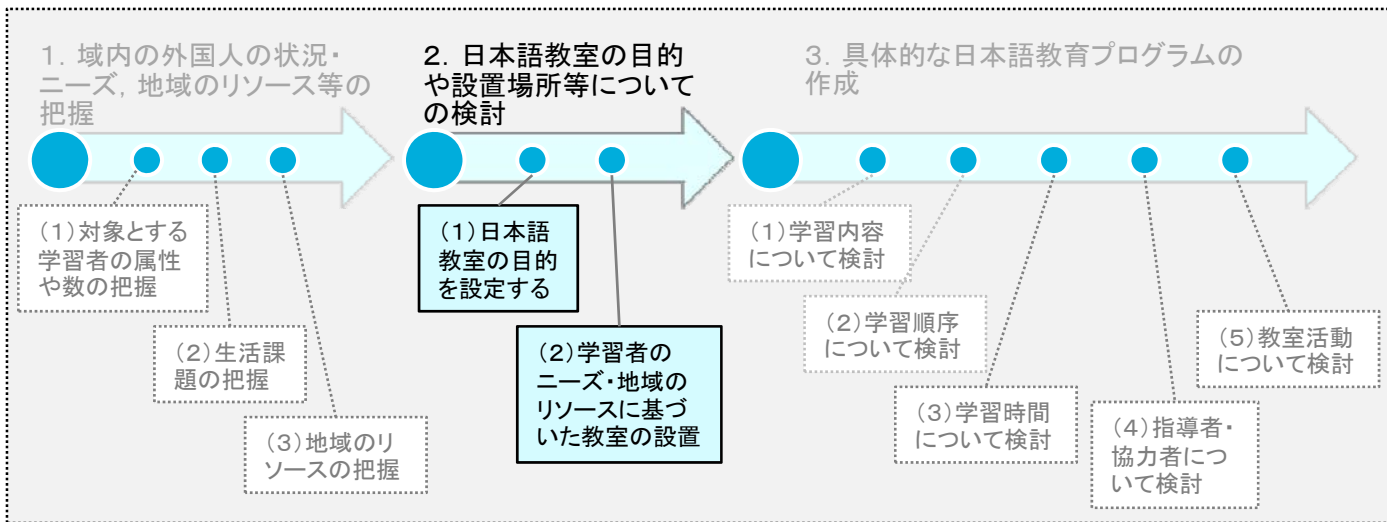


技能実習生Cさん

地域

2. 日本語教室の目的や設置場所等についての検討

【作業全体の中での位置付け】



【作業の内容の例】

(1) 日本語教室の目的を設定する

○ 漠然とした学習者像ではなく、域内の外国人の状況を踏まえた上で「具体的な学習者像」を設定し、そこから生活課題の改善に向けた教室の目的を設定する。

○ 外国人の社会参加、エンパワメントにつながる目標設定を行う。

⇒ 同僚や地域住民と日本語で人間関係の構築ができ、社会との接点を広げていくことができるようになる。

(2) 学習者のニーズ・地域のリソースに基づいた教室の設置

① 地域課題、域内の外国人の状況に対応した日本語教室の設置(場所、日時等)

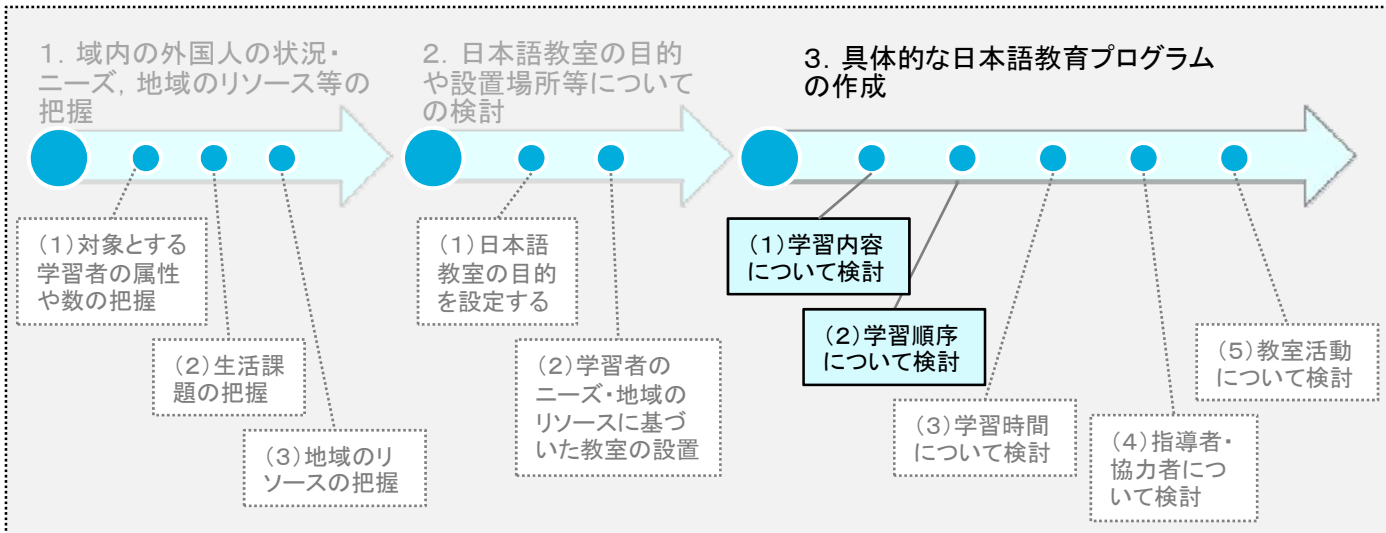
⇒ 平日昼間に働いていることを踏まえ、土日の午前中及び土日の夜間に公民館で実施

② 行政・関係機関との連絡調整

⇒ 地域の生活情報の提供、地元の日本語学校で勤務する日本語教師の協力、受入団体の通訳の協力

3. 具体的な日本語教育プログラムの作成(1)～(2)

【作業全体の中での位置付け】



※「(3)学習時間について検討」、「(4)指導者・協力者について検討」、「(5)教室活動について検討」の作業の内容の例については20ページ参照。

【作業の内容の例】

(1) 学習内容について検討

① 学習者Cさんの生活課題の中から、優先度が高いものを選択する。

生活課題の優先度	生活課題の内容(できるようになりたいこと)
1) 切迫度の高いこと	実習現場の人と日本語で話したい
2) 今できるようになりたいこと	日本語で人間関係が作れるようになりたい
3) できればできるようになりたいこと	信頼できる相手に質問したい
4) 今後できるようになりたいこと	情報を収集・発信したい



② 生活課題の内容(できるようになりたいこと)に該当する生活上の行為「人とかかわる」「情報を収集・発信する」を標準的なカリキュラム案から選択する。

標準的なカリキュラム案で扱う生活上の行為 (全30単位)
<input type="radio"/> 健康・安全に暮らす(7単位)
<input type="radio"/> 住居を確保する・維持する(2単位)
<input type="radio"/> 消費活動を行う(4.5単位)
<input type="radio"/> 目的地に移動する(3.5単位)
<input type="radio"/> 人とかかわる(2.5単位)
<input type="radio"/> 社会の一員となる(4.5単位)
<input type="radio"/> 自身を豊かにする(2単位)
<input type="radio"/> 情報を収集・発信する(4単位)

③「人とかかわる」「情報を収集・発信する」の具体例である生活上の行為の事例の中から、より生活課題に近いものを選び出す。(※下の表は選択後の事例を例示。)

④地域の実情・学習者Cさんの日本語のレベルに合わせて事例に工夫を加える。

標準的なカリキュラム案における生活上の行為の事例
<p>○ 人とかかわる(2.5単位)</p> <p>3101010 あいさつの種類と目的を理解する 3101030 時宜に合ったあいさつを学んで実行する 3101130 人間関係のきっかけを作るあいさつをする</p>
<p>○ 情報を収集・発信する(4単位)</p> <p>4701100 電話を掛ける 4702070 応答する</p>

各教室で行う日本語教育の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつについて理解を深める ・初対面のあいさつをする <p>…等</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・職場に電話して遅刻や欠勤について伝える ・電話を受ける <p>…等</p>



(2) 学習順序について検討

○学習者の生活課題の優先度に合わせて学習順序を合わせる。具体的には、「1. 域内の外国人の状況・ニーズ、地域のリソース等の把握」の「(2)生活課題の把握」の「1」切迫度の高いこと、「2」できるようになりたいこと」の順に設定する。

3. 具体的な日本語教育プログラムの作成(3)～(5)

学習時間、指導者・協力者、行動体験中心の教室活動について検討し、プログラムを作成する。ここでは検討後のプログラムの例示を行う。

- ◆教室の目的：人間関係の構築ができるようになる（Ⅶ 人と付き合う）
- ◆指導者：地域在住の日本語教育経験者
- ◆教室の場所：公民館
- ◆日 時：土曜日、10時～12時

	言語事項／社会・文化的情報の選択と工夫	目標達成のための教室活動	活動方法	協力者	教材
1 人間関係の構築ができるようになる	・あいさつについて理解を深める (←3101010 あいさつの種類と目的を理解する)	・あいさつの種類と目的について考える ・母国や外国と日本のあいさつを比べる			あいさつ場面の写真、イラスト、手紙
	・年賀状や暑中見舞いのやり取りをする (←3101030 時宜に合ったあいさつを学んで実行する)	・年賀状（暑中見舞い）の習慣を学び、書き方を学び実際に書く	実体験	知り合いや地域の住民	年賀葉書（暑中見舞い葉書）、写真、実物
	・相手に合わせたあいさつをする (←3101060 相手に合わせたあいさつをする)	・場面や相手をいろいろ設定し、ふさわしいあいさつの仕方を練習する	ロールプレイ		映画「釣りバカ日誌」などの映像
	・起きてから寝るまでのあいさつを知る (←3101080 日常のあいさつをする)	・学習者の一日の流れを追って、適切なあいさつができるよう練習する ・応じ方を練習をする	ロールプレイ		
	・初対面のあいさつをする (←3101130 人間関係のきっかけを作るあいさつをする)	・初対面のあいさつの練習をする ・地域の人との交流会をし、体験する	プロジェクトワーク	地域の人	町内会の案内など
	・公的な自己紹介を行う (←3102050 仕事上の公的な自己紹介をする)	・自己紹介が丁寧体でできるように練習する ・名刺交換をする	ロールプレイ、ショウアンドテル	職場の人	
	・私的な自己紹介を行う (←3102070 私的な場面で自己紹介をする)	・人が集まった場で簡単な自己紹介ができるように練習する	プレゼンテーション	地域の人・学生	
・冠婚葬祭のマナーについて相談する (←3103150 分からないとき、疑問に思ったときに信頼できる相手に質問する(日本の一般的なマナー等について))	・題材を提示し、対応を考える ・質問の仕方を知る ・実際に質問して回答を理解する	話し合い、実体験、ロールプレイ	職場の人 支援者	招待状、冠婚葬祭の写真、祝儀袋等	
2 情報を収集発信する	・職場に電話して遅刻や欠勤について伝える。 (←4701100 電話を掛ける)	・遅刻や欠勤のいろいろな状況を想定し、きちんと用件が伝えられるようにする	ロールプレイ	支援者	状況を表す絵
	・電話を受ける (←4702070 応答する)	・電話を受ける際の定型表現を練習し、実際に電話応答の体験をする	ロールプレイ、実体験	支援者	

P.21
参照

※()内は工夫前の生活上の行為の事例

<教室活動の展開例>

(1) 初対面のあいさつをする

教室活動の内容	サポート情報等
<p><u>1) 人間関係を作るきっかけとなるあいさつなどについてのVTRを見る</u></p> <ul style="list-style-type: none">・初対面のあいさつ，日常的に交わされるあいさつの言葉（天候を問う，行き先を問う），電話の受け答え等 ⇒VTRがない場合は協力者による実演 <p><u>2) 人間関係を作る上での文化的な違いを準備された資料等から理解する</u></p> <ul style="list-style-type: none">・母語で書かれた資料等の内容について，指導者から説明を受けたり，クラスメートと話し合ったりする。 <p><u>3) 様々なあいさつの場面を体験する</u></p> <ul style="list-style-type: none">・あいさつや電話の場면을教室内で練習をする。可能であれば，実際の場面で使ってみる。 <div data-bbox="97 1025 819 1331" style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"><p>【会話例】</p><p>A：「こんにちは。いい天気ですね。」</p><p>B：「そうですね。どちらにお出かけですか。」</p><p>A：「ええ。ちょっとそこまで。」</p><p>B：「行ってらっしゃい。」</p></div>	<p><参考資料></p> <ul style="list-style-type: none">・町内会の案内 <p><活動方法></p> <ul style="list-style-type: none">・ロールプレイ (※標準的なカリキュラム案110ページ，ガイドブック（仮称）xxページ参照)

【参考資料】

- ・平成19年度文化庁日本語教育研究委託 外国人に対する実践的な日本語教育の研究開発
（「生活者としての外国人」に対する日本語教育事業—報告書— 平成20年3月
社団法人日本語教育学会）
- ・平成20年度文化庁日本語教育研究委託 外国人に対する実践的な日本語教育の研究開発
（「生活者としての外国人」のための日本語教育事業—報告書— 平成21年3月
社団法人日本語教育学会）
- ・「生活のための日本語」に関する基盤的研究—段階的発達の支援をめざして 中間報告書—
（平成20年度～23年度科学研究費補助金（基盤研究（B））研究成果報告書 中間報告）
（平成22年3月 研究代表者金田智子（人間文化研究機構 国立国語研究所））
- ・「外国人研修生・技能実習生の日本語調査」第一次調査 速報 2010年3月
JITCO能力開発部援助課
- ・2006年度「外国人研修生日本語教育実態調査結果報告（調査対象：第二次受入機関）」
財団法人国際研修協力機構